

主要施策（8）運営基盤の強化

主な取組名 ① 職員の育成・確保及び能力開発

主な事業名		水道技術者を育成するための技術研修の実施【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
7,510 (147 再掲)※						
達成指標	(ア) 技術研修等講座数			達成状況		
【R7 年度事業計画】 「実践的な技術研修の実施」による技術継承の推進を図るため、千葉県企業局水道技術研修の各講座や、体験を通じて技術を習得する体験型技術研修を実施します。 ※ 一部再掲 水道技術研修の開放による技術支援 147（千円） 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	
実績	22 講座 /年	26 講座 /年	28 講座 /年			

主な事業名		役職や担当業務に応じた効果的な研修、O J T 基本計画に基づく組織的なO J Tの実施【総務企画課】 接客マナーの向上に向けた取組【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
12,316						
達成指標	(イ) 人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善			達成状況		
【R7 年度事業計画】 企業職員にふさわしい人材育成及び職務の遂行に必要な能力開発を行うために、局主催での研修実施をはじめ、知事部局での研修や外部機関の研修に参加させます。 局主催の研修実施にあたっては、内容等の設定を適切に行うとともに、受講者へアンケート調査を行って意見聴取し、研修テーマや実施形式、研修時間等の内容の見直しを行うなど、より高い研修効果が得られるように改善していきます。 全職員に接客対応マニュアルを配布するとともに、一人ひとりが自己の接客態度を振り返る接客マナーチェックテストを一斉実施します。 また、外部講師による接客サービス向上研修を継続的に実施します。 さらに、接客サービス推進月間及びクレーム等対応実務研修では、各所属の接客サービスについて確認・改善を図るとともに、委託会社に対しても意識啓発を図ります。 局に蓄積されている技術力、現場のノウハウを効果的に継承させるため、O J T 基本計画に基づき、O J T の有効な推進を図ります。						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）				
実績		局独自の研修の継続（1 研修 不 開催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施		
【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						

主な事業名		ホームページ・広報誌による情報発信、学校訪問、職場見学会等の実施【総務企画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
0							
達成指標	(ウ) 事業運営に必要な執行体制の確保				達成状況		
【R7 年度事業計画】 事業運営に必要な人員を確保するため、ホームページや局紹介パンフレット等による情報発信、県内外の工業高校等への学校訪問及び職場見学会を開催するなどの取り組みを行います。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	新規採用や知事部局との人事交流等の実施（毎年度）				
実績	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保		

主な取組名 ② ICTや民間活力の活用による業務の効率化

主な事業名		支払方法の多様化/手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等（再掲）【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1, 014, 805 (再掲)						
達成指標	(エ) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等の オンライン化の実施状況（再掲）			達成状況		
【R7 年度事業計画】 「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムの稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進め、年度内に運用を開始します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入		

主な事業名		I C T（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討【総務企画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
3,757						
達成指標	(オ) I C T（情報通信技術）等を活用した業務の実施と更なる効率化の検討			達成状況		
【R7 年度事業計画】 令和7年度は、令和6年度までに導入したウェアラブルカメラ（※）及びローコード開発ツール（※）を引き続き活用し、業務効率化を図ります。 併せて、県（知事部局）の動向等を踏まえ、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。 ※ウェアラブルカメラ：現場で装着・設置して撮影した映像を遠隔からリアルタイムで確認・会話できるクラウド録画型カメラ ※ローコード開発ツール：クラウド上で様々な職員が同時にデータを閲覧、編集できるデータベース型の業務システム（アプリ） 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	検討の実施	検討の実施	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	その他検討の実施	
実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等	機器等の試行的導入			

主な事業名		配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託/D B等の新たな契約手法の調査・検討【給水課】				
R7 年度予算額(千円) ※铸铁管更新工事（再掲）				R7 年度決算額等(千円) ※铸铁管更新工事（再掲）		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
30,400,000 (再掲)						
達成指標	(カ) 配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施			達成状況		
【R7 年度事業計画】 増加する管路の更新・整備需要に対応するため、監督職員が行う工程管理や工事現場における立会、施工状況の確認等の業務を可能な限り民間業者に委託することにより業務の効率化を図るとともに、新たな契約手法として令和4年度に試行導入した概算数量設計発注方式について、引き続き試行工事を実施します。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施（毎年度）				
実績		配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施		

主な取組名 ③ システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化

主な事業名		情報システム及びネットワークの整備【業務振興課】																						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)																				
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計																		
4, 123, 849 (※)																								
達成指標	(キ) 情報システム等の整備件数			達成状況																				
【R7 年度事業計画】 情報システムの安定運用及び情報資産の安全性確保を図るため、機器等の調達及びシステム開発等を行うとともに適切な維持管理を実施します。 ・新庁舎移転に伴うネットワーク機器調達 ・新受付システムの開発 等 ※一部再掲 新受付システムの開発 766, 804 (千円) 3 (6) ①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等																								
<table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td>18 件/年</td><td>13 件/年</td><td>6 件/年</td><td>4 件/年</td><td>5 件/年</td></tr><tr><td>実績</td><td>17 件/年</td><td>13 件/年</td><td>6 件/年</td><td></td><td></td></tr></table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画	18 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年	実績	17 件/年	13 件/年	6 件/年		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	18 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年																			
実績	17 件/年	13 件/年	6 件/年																					
【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】																								

主な事業名		情報セキュリティ研修の実施【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	(ク) 情報セキュリティ研修等受講者数			達成状況		
【R7 年度事業計画】 水道サービスの安全かつ持続的な提供を確保するため、職員のセキュリティに対するさらなる知識の習得や意識の向上を図る研修等を実施し、個人情報等の保護及び不正利用の防止に取り組みます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年
実績	198 名 /年	231 名 /年	585 名 /年		

主な事業名		ネットワークの監視【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	(ケ) 障害等への即日の初動対応率			達成状況		
【R7 年度事業計画】 県営水道では、情報システムを幅広い分野で活用しており、システム障害等は業務の継続性に大きな影響を及ぼすことから、ネットワークの監視を行っております。監視の結果、計画停電等の既知の障害等を除き、業務の継続に影響のあるネットワークの性能低下や障害等を検知した場合は、初動対応を即日実施し、障害等の影響の最小化を図ります。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年	
実績	100% /年	100% /年	100% /年			

主な取組名 ④ 健全経営の推進

主な事業名		経費の削減【総務企画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	(コ) 経費の削減			達成状況		
【R7 年度事業計画】 健全経営を維持しながら、今後、増大する水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減を進めていきます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		工事コスト・ランニングコストの削減 経常費用の圧縮（毎年度）				
実績		品質確保 に留意し たコスト 削減に努 めた	品質確保 に留意し たコスト 削減に努 めた	品質確保 に留意し たコスト 削減に努 めた		

主な事業名		企業債の活用及び適正管理、国への要望活動【財務課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
36,000,000							
達成指標	－				達成状況		
【R7 年度事業計画】							
近年の物価高騰や施設の更新・耐震化に伴う減価償却費の増などにより、中期経営計画期間中の純利益は計 193 億円となり、計画の 292 億円を下回る見込みです。							
こうした中でも、施設の更新・耐震化を着実に進めていくため、企業債については、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。							
この結果、令和 7 年度末の企業債残高は、中期経営計画における企業債残高を上回る 2,058 億円となる見込みです。							
・令和 7 年度起債見込（当初予算）360 億円							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画							
実績							
また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、平成 19 年度から平成 24 年度にかけて実施された公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っています。							
○起債状況							
単位：億円							
		R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 見込	
各年度末の 残高	収支見通し	1,491	1,592	1,717	1,804	1,916	
	実績	1,386	1,392	1,571	1,820	2,058	
	計画 R7 残高との差	530	524	345	96	▲142	
○純利益の状況							
単位：億円							
		R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 見込	計画期間計
収支見通し		17	81	75	63	56	292
実績		85	39	58	9	2	193
【事業の実施状況】							
【今後の具体的取組】							